

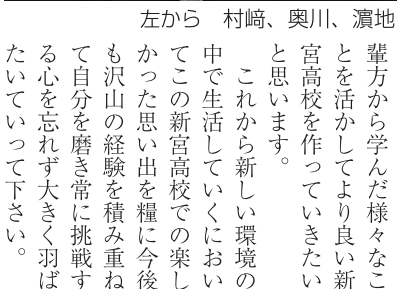
卒業生へ贈る言葉

だったと思います。後輩である私たちにとって皆さんは本当に最高の先輩でした。いつも笑顔で何事にも本気で一生懸命に取り組む姿に、私たちは尊敬とあこがれの気持ちでいっぱいでした。皆さんの明るさと優しさは世界一です。きっとこの先の人生においても多くの人に勇気を与えることができると思います。

皆さんの絆はとても強く繋がっ

顔や勇気を与えてくれて本当にありがとうございました。先輩たちと共に過ごした学校生活を私たちはけっして忘れません。皆さんのこれからのご活躍を期待しています。私たちが在校生一同、新宮高校をますます良くしていくことを誓いお祝いの言葉とさせていただきます。本当に
おめでとうございます。

副会長(二二)
濱地 真子



歩を踏み出そうとしている皆様は期待と不安の気持ちで胸がいっぱいのことと思います。

先輩方が彩雲祭や体育祭などの学校行事を盛り上げるために見せて下さった団結力や私たちが下級生を引っ張ってくれた姿は

私たちは皆様が築かれてきた新宮高校の素晴らしい伝統をしっかり受け継いでいけるよう、日々努力しています。皆様のご健康とこれからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今までありがとうございます。ございました。

新宮高校を卒業される三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。私たちが在校生より一歩先に社会人へと近づくみなさんは先に待つ新しい環境に期待と不安を感じていることでしょう。先輩方が新宮高校で過ごした三年間、様々な出来事があったと思います。それでも三年間という期間はあつという間だったのではないのでしょうか。ただその間に積み重ねた色々な思いや経験は自身を成長へと導いてくれたことだと思います。

私達が先輩方と接することのできた時間は決して長いものではありませんでしたが、たくさんのかんことを学び、感じる事ができました。行事などでは率先して盛り上げてくださり、時には胸が熱くなるような戦いを見せてくれました。あの熱意を私たちは忘れません。部活動でも困難にぶつかった時、共に悔しさを乗り越える力を教わり、最

後には笑顔で涙を流す事ができました。これほど頼りになる仲間として大切な時間を過ごすことができたことは最高の思い出です。

新宮高校で先輩方と出会えたことを私は心から誇りに思います。どうかこの三年間を糧としてこれから未来に向かってしっかりと歩いていって下さい。ありがとうございました。

三年一組 岡 本 怜 応

在校生に贈る言葉

みなさんに託すので必ず夢を実現してください。先輩はみなさんを応援しています。

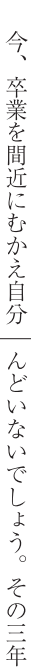
高校生活の三年間というのは実感してみると本当に早いので長いようで短い高校三年間で後悔なく卒業できる人はほとんどいないでしょう。その三年

今、卒業を間近にむかえ自分



在校生に贈る言葉

三年一組岡本怜応



自然の脅威を私たちに見せつけるとともに、自然の中で生きる人間の生き方や在り方を私たちに問うてきました。人間の技術や想定が自然の前で打ち砕かれた現実、しかしその技術や知識、想定がエネルギーを産み出し、私たちの生活や社会を支えているという現実。一方で、また先が見えず、抱えきれない悲しみに耐える苦境の中で、少しずつ前に歩みすすめる原動力



學校長 七瀧 高至

さて、皆さんが過ごした三年間に思いを馳せる時、真っ先に思い至るのが、二つの大きな自然災害です。二年前の三月十一日に未曾有の被害をもたらした東日本大震災と、同年九月に当地方を襲った台風十二号の大災害です。その爪痕は今もなお残り、日々苦悩の中で生活を続けられています。方々も依然多くおられます。

東日本大震災は二万人近い死者と行方不明者を出しました。放射能の問題も含め、復興に四十年以上はかかると言われています。この大震災は

となったのは人との絆でした。絆が、繋がりが、私たちに力を与え、私たちを生かしてくれんという思いを強くしたのもこの震災を通してでした。私たちは繋がりの中で生きています。そして繋がりの中から多くのことを学びます。

横の繋がりは勿論、縦の繋がりからものです。縦の繋がりは歴史です。二年前の九月に起きた台風十二号による大災害は、この地域の歴史や古文書を紐解くと、今から百二十三

百人の村人がふるさとを離れ、遠く北海道に移り住み、「新天地」を求めたほででした。また世界遺産の帰着点である熊野本宮大社でも、大斎原のおゆのはらに鎮座していた十二の社寺が流され、残った証正殿などが現在の本宮大社に移されています。これほどの大災害の歴史を持ちながら、私たちがこの百二十三年前の

いただき恐縮です。三月十一日のお昼までは、まさかこのような事態になるなどとは全く予想だにしていませんでした。前回お会いした時、七瀨先生が住むエリアは南海大地震がいつ起こるかわからないのでお互い学校長として心配ですねと話したことが、こちらが先になりました。いつかこのようなことが起きるであ

災害に関わる話をしてきましたが、「自覚」と「備え」は私たちが生きていく中で、常に必要とされるものであるとも考えます。高校時代、「新高校生としての自覚を」という言葉はよく耳にしたと思います。「新高校生としての自覚を持つこと」で、「新高校生」という立ち位置を持つ自分が、今何をしなければならぬか、何ができるか

れの道に歩みをすすめる中で、一人ひとりの「自覚」と「備え」がさらに重要になってきます。何事も自分のこととして考えることは意外と難しいものであるということを意識しつつ、誇り高い「自覚」と周到な「備え」を持つ人として雄飛されますことを心よりお祈りしています。

終わりに、保護者の皆さまから、これまで本校に寄せられましたご厚情とご支援に對しまして、心から御礼申しあげます。

聞たちのおかげで私は何倍も大きく成長したと思います。もちろん先生や親たちにも救われました。クラブ活動の中で出会えた。全員の人に感謝したいです。

今、もしかすると私と同じ境遇の人がいるかもしれません。そんな人は絶対に諦めないでください。諦めなければ必ず最中には素晴らしくかけがえのないものがあなたたちを迎えてくると思います。私は今まで三年間で流した汗や涙もかけがえのない大切な思い出になっています。みなさんも最後にはそう思うような素晴らしい生活をつつてください。そして、歴代

練習後の一人の時間、放課後の一人の時間、この時間でどれだけ自分に負けずに成長できるかが後悔を少なくする秘訣だと思います。特に勉強というのは一人で全国の人たちと勝負しなければなりません。まずは自分自身に勝てる人間になってください。そうすれば結果は出てくるはずです。

私自身はこのようなことを言えるほど頑張ったとは言えませんが、高校生活の中で感じたことはこのことが一番大きかったです。みなさんなら必ず自分に負けず結果を残せると思います。みなさんの活躍をこれからも期

真理似寒梅

坪野賢一郎

昨日から学び、今日を生き、
明日へ期待しよう
事務長 塩崎洋一

健康第一

榎本 滋

心から輝く人であれ
キラキラ 米谷英忠

楽しみ亦た其の中に在り
信じる道に生きるものには、その中に自然と生まれる
楽しみがあるものだ。
橘 恭子

努力に勝る天才なし
継続は力なり
加瀬愛子

何が正解なんて分からない。
どれか一つだけやってこい。
今自分のものさしで歩いてゆこう
I can try measure. 山ノ真希

で、君はどう考える？
中口陽介

翔
未来に
凛として
高木陽子

一念通天 大谷貴彦

実るほど頭を垂れる稲穂かな
感謝の気持ちを大切に頑張ってください。
坂井 英行

努力は誰でもする。
誰にも負けない努力をせよ！
奥田 健太

All our dreams can come true
if we have the encourage to pursue them.
(正しい夢は実現できる。Walt Disney)
人生は一度きり。未来に向けて一歩ずつ歩んでいこう。岡田由美

いつでも「positive thinking!!」
山泉 亮

人生は選択の連続。
その時、どう動くかで人生の道が開かれる
常に自信を持って、なりたい自分になって下さい。
中谷 あずさ

明日は我が身
丹羽 泰一郎

Where there's a will, there's a way.
自分を信じて進んでください。
島 照子

何事も経験
垣内 稔彦

謙虚に
倉谷 宣宏

大分県
今から
踏み出す
言え
そんな風
日々
刻んで行こう
どんな場所
いても
Mr.Children
旅立ちの朝
玉石 真己

人間万事塞翁が馬
瀬田 博文

Desire Creates the power !
Naoyo Nishihagi

“石に立つ矢”
心の力をまねて
天原 義雄

Life is a marathon,
not a sprint.
がんばりなう。 宮井 貴浩

人生を100としてみよう
嬉しい時も楽しい時はハハハと笑う 8×8=64
辛い時も悲しい時はシシ泣く 4×9=36
64+36=100
そう、人生には、喜びの分だけ辛いのです。藤本 正子

明日やうは馬鹿野郎!!
今でも全力で全がで取り組んで下さい。
谷口 英里華

Think positive and enjoy life!
肯定的に考えると人生を楽しむ！
ヤニス

Be happy!
Remember to live, love, laugh and learn.
Keiko Okano

いっしょに
感謝
笑顔
顔

焦らずコツコツと
自分らしく
岡 野 孝

磨斧作針
七瀨 高至
「どんな難しいことでも忍耐強く努力すれば必ず成功する」

時間厳守!!
久保利享平

体と心の健康を!
浜 竜也

自分立つあるたへ
目新しい言葉で進みたいと考へてみよ。
やばいことを勝つ。
友達をつくらう!
いっしょにがんばろう!
一生の財産。
一生の財産。

自分が思うところ。信じるころへ
道は通じていくものです。
藪 中

今の自分を励ましてくれるのは
過去に頑張った自分だけ。
卒業おめでとう!! 田寺美絵

「そのうち」なんて あてにならないな。
今がその時さ。ースナフキン
Live for today! 田端 綾子

平凡なことに
心を込めて取り組み続けられる人が
非凡になる 雨 都

直向生
直向生

あきらめたら 試合終了!!
迷った時は、前に出ろ!!
武田 俊幸

信じる
福福は糾える縄の如し
良い時には足元を。
悪い時には上を見よう
東 啓史

いつでも自分から始まる
自分の中に未来がある
上地 一生
笑顔が一番美しい
清原 地 照美

夢、見る力
つかむ力
田原 敬治

慈
荒海 善光
夢は逃げない。逃げるのは自分だ。
網代 涼佑

自分に厳しく
人に優しくしよう
大須賀 淳志

木鶏たれ
森下 敦規

幸も不幸も自分次第
服部 隆成

学心 研道
角倉 早紀

成功する秘訣は
成功するまで続けること
高須 崇

ハイスクールサミット

i in 東北に参加して

—平成二十四年七月三十一日—

ハイスクールサミットとは平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災をきっかけに被災地の高校生が「愛するふるさとの復興」を語り、全国の高校生たちが「被災地への想い」や「愛するふるさとの活性化」について語り合い、その想いを全国に発信することを目的に開催されたフォーラムです。今回、新宮高校から二人の生徒が参加してきました。



二年五組
高橋 菜葉子

今回のサミットで貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。最初、私はサミットに行く前は期待よりも不安でいっぱいでした。しかし、今となつては、とてもいい思い出になりました。

初めて目の前で見える被災地。言葉を失いました。テレビや新聞で見るともつと悲惨な状況が広がっていました。グチャグチャになったガソリンスタンド。人気のない空っぽの家。所々に置かれてある花。本当にここには町があったのだらうか、と思いました。まだまだ復興がなされていない悲しい想いの反面、メディアはどうしてもつこの現状を伝えたいのかと、怒りも感じました。

ワークショップやサミットでは、全国から集まった高校生たちと意見を交わし、皆それぞれに熱い想いを持っていて、素晴らしい内容になりました。私は

サミットに参加することに決めました。

一日目に、名取市の見学に行かせていただきました。そこが以前、町だったのかと疑うほど何もな

ちのテーマは「安心して暮らせるまちづくり・みちづくり」でした。まず「安全」について皆で考えました。私は、「安全」について深く考えたことがありませんでしたが、いろいろな意味やそれぞれの想いが込められていました。安心して暮らすには、交通の発達、医療の充実、災害時の対策・十分な備蓄が必要など様々な意見がありました。意見をまとめるのはすごく大変でしたが、とても内容の濃い、意味のある討論になったと思います。

自分がもし、このサミットに参加していなかったら…と考えるみると、東北のこの大変な状況を知らずに、もう復興がかなり進んでいるだろうと思ひ込んでいました。今後、もっと復興には長い時間がかかるでしょうが、自分が少しでも何かできることがあれば、協力していききたいと強く思いました。そして、この体験を通じて、私たちが災害の恐ろしさや東北の現状を伝えていかなければならないと思いました。

二年六組

竹場 奈津子

東日本大震災で起きたことは、新聞やテレビなどを通じて私たちの目や耳に入ってきます。しかし、私はこれら報道には限界があり、実際に自分の目で見てしか考えられないことがあると思います。今回、ハイスクールサミットへ新宮高等学校から二名が参加できることを聞いて、被災地の見学や他の高校生との話し合いにより得られることを将来に役立てたいと思い、この

いところでした。私は昨年九月の紀伊半島の大水害を経験し、水害の恐ろしさはわかっているものだと思っていました。そんなことは言えなくなるほど津波の怖さを感じました。また、そこで瓦礫を運搬しているトラックを何台も見ました。今なお瓦礫の撤去作業が続いていることに驚き、被災地の現状を少し知ることでできました。

体育祭

テーマ「Respect for all」

平成二十四年九月十五日

今年度の体育祭は前日まで雨が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ無事予定通り開催することができました。

昨年はオリンピックイヤーで日本中が盛り上がり、日本代表選手たちの一つのことを最後までやりぬく姿、決してあきらめることなく競技する姿、そして仲間のために戦う姿に皆が感動しました。生徒たちは、その感動を表現し、自分たち自身も一つの競技に真剣に励む姿を見せ感動を与える体育祭にしようと取り組んでいました。

今回のテーマは「Respect for all」。皆が感銘を受けたオリンピック選手たちの姿を敬い、これまで新宮高校の体育祭を作り上げてきた人々や周りの仲間、その全てに尊敬の気持ちを持って競技に臨もうとこのテーマが作られました。リレーなどの個人競技では自分の力を発揮し、大縄跳びや二十人二十一脚などの団体競技では仲間と心を一つにして正々堂々と戦っている姿が、このテーマを体現しているようでした。

また、今回の体育祭は例年とは異なり学年対抗戦で行われました。クラスのメンバーの分け目を超えて学年全体で力を合わせる



2 学年研修旅行

平成24年 12月6日～10日

今年、発達した低気圧の影響による大雪の中で、冬本番の北海道の自然と文化を体験することができました。

十月八日

朝六時三十分、新宮高校を出発し、バスで中部国際空港まで移動後、空路を利用し新千歳空港へ到着しました。新千歳空港からは、

政府専用機の格納庫などを見ながら、バスにて旭川まで移動しました。その道中で札幌の夜景を眺めることができました。ホテルでバスから荷物を降ろす短時間で、寒さの本場、北海道の冬の洗礼を受けることになりました。

十二月八日

クラス別に様々な体験活動を行いました。スキーやスノーモービル、アクセサリー作りやソーセージ作り、白い恋人作りなど、各クラスの特色の体験活動を行いました。中でも、スノーアクティビティは、雪の珍しい当地方出身の生徒たちには、貴重な体験になったものと思います。

十二月七日

旭川市博物館でアイヌ民族の文化や、北海道開拓とその後の歴史に触れました。その後、近年話題の旭山動物園で、動物たちの行動展示を見学しました。雪の中で動物たちは、寒さをやり過ごすための行動をしており、それを見るのはとても新鮮でした。

十二月九日

最終日は小樽観光を行いました。自由行動中に海産物を食べたり、オルゴール館での見学をしたりと、雪の町並み散策を堪能しました。その後、大倉山ジャンプエへ移動し、ジャンプ台

ロングハイキング

平成二十四年十二月十六日

十二月十六日、新宮高校の冬の恒例行事であるロングハイキングが行われました。今年度は、本来の実施日である十五日が雨天であったため、翌日の十六日(日)に行われました。前日が雨天であったため多少のぬかるみはありましたが、怪我人もなく無事に行程を終えることができました。

今年、コースは田辺市本宮町請川から新宮市熊野川町小和瀬までの約十三キロでした。本宮町請川の本宮小学校に集合後、開会式が行われこれから始



まるハイキングを心待ちにしている生徒、不安そうな顔の生徒、いろいろな表情で行程を終えることができました。

熊野古道は蟻の熊野詣とよばれて民衆から上皇まで多くの人々が昔から歩いた道です。本校で約二十年続くロングハイキングは、地元の伝統に触れる絶好の機会としてしっかりと受け継がれていると感じました。

この五日間の旅行を通して、生徒たちは集団行動の大切さ、北海道の自然やそれとたくみに付き合う文化などを体感することができました。違う土地の風土を体験できたとても意義深い研修旅行になりました。

順に出発しました。学校を離れて行うロングハイキングでは、普段なかなか見ることのできない生徒たちの一面を見ることができました。授業では話す機会のない先生と楽しく歩く姿や友達と仲良く歩く姿、また熊野古道の絶景に感動する姿など本当に明るい表情を見せてくれました。熊野古道の豊かな自然に包まれたまま全員が満足そうな表情で行程を終えることができました。

